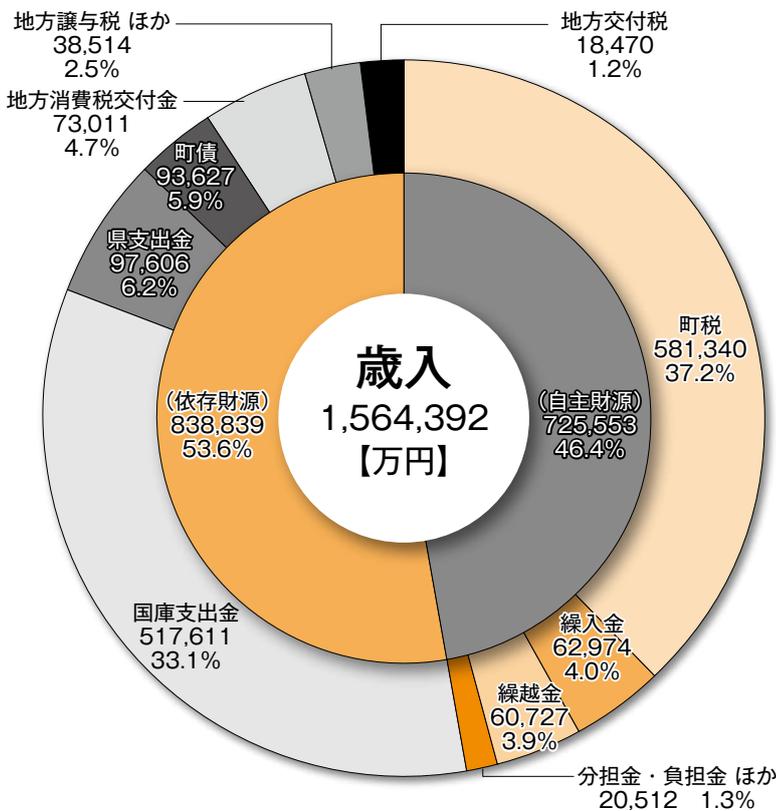


# 令和2年度 決算の報告

令和2年度(令和2年4月～令和3年3月)の決算がまとまり、9月議会において認定されましたので、その概要についてお知らせします。決算の詳細や公営企業会計の決算は、町ホームページをご覧ください。

一般会計の決算額は、歳入156億4,392万3,284円(前年度比+40.6%)、歳出148億3,078万5,310円(前年度比+41.0%)となりまして、差引額8億1,313万7,974円は令和3年度へ繰り越しました。

## 歳入



町税収入は、令和元年度と比較して1億9,098万円の減となりました。町税のうち法人町民税は、2億5,575万円の減収となりました。

繰入金は、財源確保のために財政調整基金を取り崩したことなどにより5億7,544万円の増となりました。

町債は、臨時財政対策債や、体育センター改修などの建設事業の財源とするために借入れを行ったことなどから、9億3,627万円となりました。

国庫支出金は、38億1,260万円の大幅な増となりました。特別定額給付金事業などの新型コロナウイルス感染症対策が主な要因となります。それに伴い、国や県などに依存する依存財源の割合が14.6ポイント上昇しました。

## 特別会計の決算

特定の事業を行うために、一般会計とは区別して経理される特別会計の決算は下表のとおりです。決算の差引額については、それぞれ令和3年度へ繰り越しました。

会計	歳入 (前年度比)	歳出 (前年度比)	差引額
国民健康保険事業特別会計	29億4,145万円 (△5.0%)	28億4,110万円 (△6.3%)	1億35万円
介護保険事業特別会計	23億7,960万円 (+5.8%)	22億6,747万円 (+6.9%)	1億1,213万円
後期高齢者医療特別会計	2億8,427万円 (+4.7%)	2億8,225万円 (+5.8%)	202万円
農業集落排水事業特別会計	3億2,836万円 (+1.9%)	3億1,128万円 (△1.9%)	1,708万円

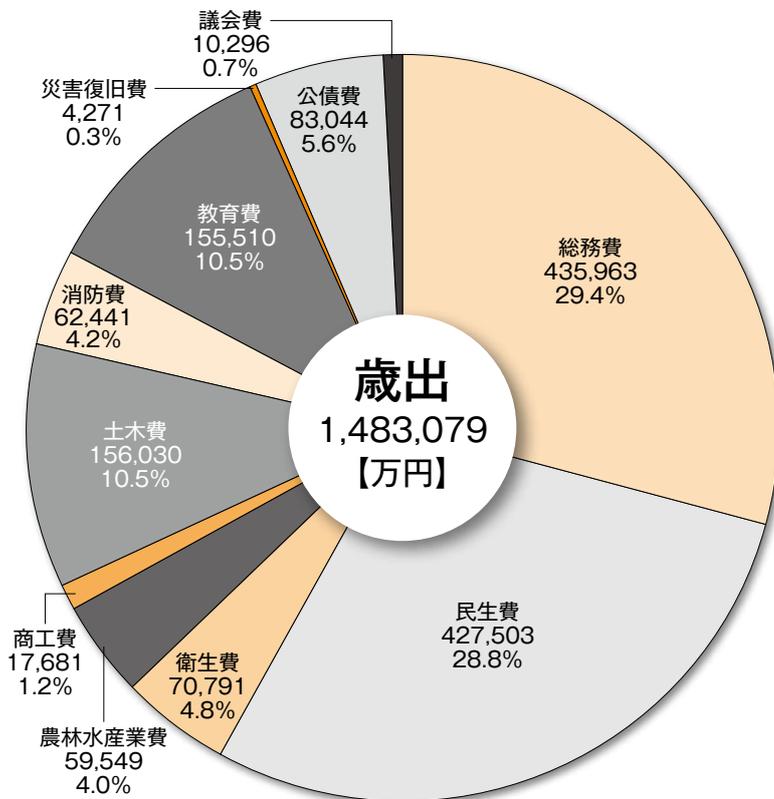
## 歳出

歳出を目的別に見ると、総務費の割合が一番多くなりました。令和元年度と比較すると32億954万円の増となりました。特別定額給付金事業、庁舎改修が主な内容です。

次に多いのは民生費です。社会保障に対する事業費が年々増加傾向にあります。幼児教育・保育の無償化により、保育所や認定こども園などへの運営費用等が増加しており、4億5,562万円の増となりました。

GIGAスクール構想実現のためのタブレット型端末整備事業や、令和4年度に開催予定のいちご一会とちぎ国体に向けた体育センター改修事業の実施により、教育費は3億6,157万円の増となりました。

歳出の総額は、新型コロナウイルス感染症対策が主な要因となり、43億1,235万円の増となりました。



## 主な事務事業

庁舎設備維持修繕事業	6,572万円	道路整備事業	3億7,545万円
医療費助成事業	1億2,484万円	消防設備整備事業	7,443万円
保育所等助成事業	3億223万円	タブレット型端末整備事業	1億9,818万円
母子予防接種事業	6,419万円	体育センター改修事業	3億3,555万円

〈新型コロナウイルス感染症対策〉

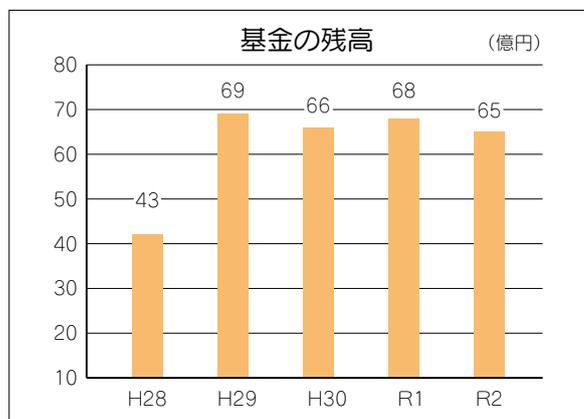
特別定額給付金事業	31億3,098万円	プレミアム商品券事業	3,257万円
子育て世帯臨時特別給付金事業	4,291万円	経営支援助成金 休業協力金	1,554万円

## 基金の残高

〔基金とは、様々な目的のために資金を積み立てているものです。〕

一般会計、特別会計を合わせた町全体の基金の令和2年度末残高は、65億196万円となりました。

令和2年度は、財政調整基金からは財源確保のため、町営住宅施設整備基金や社会福祉基金などからは事業の財源に充てるため、基金を取り崩しました。



▼問い合わせ先=企画課 財政係 ☎569119

# 令和2年度決算 健全化判断比率

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づく、健全化判断比率と資金不足比率を公表します。

健全化判断比率には、**実質赤字比率**、**連結実質赤字比率**、**実質公債費比率**、**将来負担比率**の4つの指標があります。令和2年度決算は令和元年度決算に引き続きいずれの指標も「**健全**」となりました。また、各公営企業会計においても、「**資金不足なし**」となりました。

## 健全化判断比率

指標	町の比率		早期健全化基準	財政再生基準
	実質赤字比率	健全		
実質赤字比率	－	健全	13.97%	20.00%
連結実質赤字比率	－	健全	18.97%	30.00%
実質公債費比率	5.2%	健全	25.0%	35.0%
将来負担比率	－	健全	350.0%	

※赤字が発生していないことから、実質赤字比率および連結実質赤字比率は算定されていないため、「－」と表記しています。また、将来負担比率は算定されていないため、「－」と表記しています。

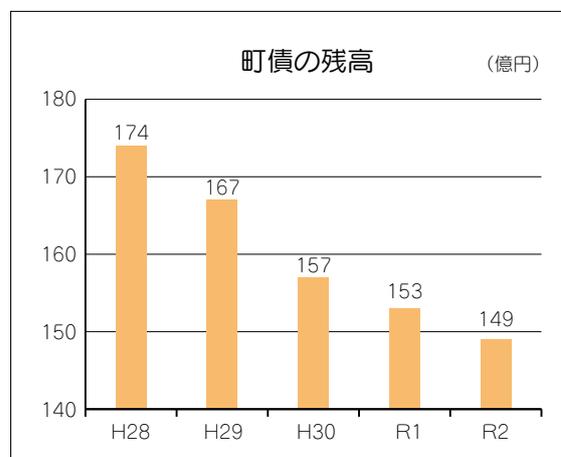
## 資金不足比率

会計	比率		経営健全化基準
水道事業会計	－	資金不足なし	
下水道事業会計	－	資金不足なし	20.0%
農業集落排水事業特別会計	－	資金不足なし	

## 町債の残高

〔町債とは、建設事業などの財源として、国や金融機関から借り入れるものです。〕

一般会計、特別会計、企業会計を合わせた町全体の町債の残高は**149億2,027万円**となりました。体育センター改修事業や学校教育施設等整備事業などのため、**11億987万円**を借り入れました。令和2年度の借入額より元金の返済額が上回るため、町債の残高は減少しています。



▼問い合わせ先=企画課 財政係 ☎9119